

油屋町くんち瓦版

編集担当 山之内 宏一

写真提供 Saori 山田

平成28年10月4日 第6版

油屋町七年に一度の賑わい

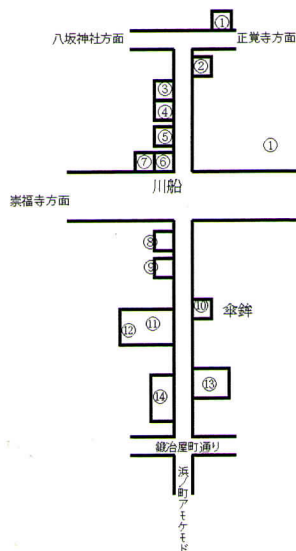
庭見せ十四箇所思い思いの工夫

平成二十八年九月二十一日金光教三階で庭見せの説明会と衣装が渡され、着方の講習があった。また、庭見せの場所のグループ分けが行われた。十月一日午前〇時に注連縄を町内に張った。あいにくの雨で紙垂が濡れて

落ちたところもあった。十月二日が日



曜日で場所によつては庭見せの準備が行われた。三日は朝から、みんなの頑張り、午後六時頃にはどこも綺麗に飾られた。今年の川



船は出しと提灯の照明が変わった。担当の清田君(根曳)は夜遅くまで頑張っていた。美しい光に包まれた川船は来た人々を楽しませていた。



人数揃い 今年暑かった いろんなことが起こる のが人数揃い

十月四日午後一時頃町内に当日の服装をした先曳き、囃子、根曳き、采、船頭、シャギリ、



傘鉾が集まった。午後一時半、本場所道中の通りに並んで、町内を一周し、八坂神社に向かった。気温、湿度が高く、暑い一日だった。傘鉾の入場から始まり、先曳き担当の山下さん先頭に先曳きの入場、その後ろを古井田さん先頭に囃子、囃子の親、船頭関係者の入場。囃子、船頭関係者が所定の位置に着く頃に、長采が入場し、それに川船が続く、舟唄の披露、囃子の奉納、船頭の綱打ち、船の走り回し、もつてこいの船回し、囃子、大太鼓は今までで一番のできた。観客の前で演技は順調に運

んで終わった。その後、町内に帰り、庭先の練習をかねて、町内の各家やお店打ち込みをして午後五時頃に終了した。今回の油屋町の人数揃いはいい演技で、何事もなく終わると思われた。しかし、思いもかけないことが待っていた。実は一回目の演技終了後、もう一回演技をすることになった。その途中、大太鼓の子が大怪我をした。本番の出場が危ぶまれた。本番、庭先を一人の大太鼓でやるのは無理である。急遽、小6の子に大太鼓をお願いした。五日、六日に特訓が行われ、衣装も準備された。今回も人数揃いから本番までに二日間あることで助けられた。